

1日参加でも
午前のみ、午後のみ
参加でもOK

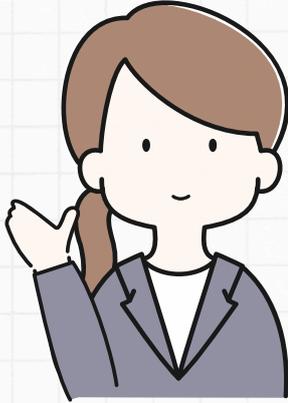
ソーシャルワーク
についてみんなで
話してみませんか?

全体SW研修

～ つながる ～

11.16 ± 9:50-16:30

会場：ドーンセンター
(大阪府立男女共同参画・青少年センター)



研修について



参加費：会員 / 非会員無料

1日午前のみ、午後のみ参加も可能です。

午後のプログラムはどちらかを選んでいただけます。

どの研修も定員達し次第締切させていただきます。

研修終了後、懇親会を実施予定です。

AM 9:50～12:00 5F特別会議室

大阪市のつながる場を参考に地域包括ケアにおける
カンファレンス・多職種多機関連携を考える
～個別支援から地域づくりへ～

定員：100名 (先着順)

おすすめの対象：初任者からベテラン

① 大阪市担当職員より事業説明予定

② 大阪市つながる場SVRの立場から

総合病院 浅香山病院 医療福祉相談室 古市 尚志 氏

③ 大阪公立大学 都市科学・防災研究センター

大学院現代システム科学研究科 教授 野村 恭代 氏

PM① 13:00～16:30 4F中会議室

これからのSWの話をしよう
～未来のプロフェッショナルをはぐくむために～

定員30名 (先着順)

おすすめの対象：中堅以上

費用：会員・非会員無料

講師：桃山学院大学 社会学部

ソーシャルデザイン学科 教授 栄 セツコ 氏

関西福祉科学大学 社会福祉学部

福祉創造学科 助教 松山 剛 氏

内容：講義・グループワーク

PM② 13:00～16:30 4F中会議室

先輩ソーシャルワーカーの話を聞こう！
～初任者の時期をどう乗り越えたか～

定員30名 (先着順)

おすすめの対象：初任者

発表者：三浦 仁子 氏 浅香山病院

高塚 涼香 氏 阪南病院

佐門 伸二 氏 株式会社コッポート

内容：実践報告・グループワーク

お申込について

各プログラムの詳細は次ページから→

◎申込方法：Googleフォーム (QRコードからお願いします)

◎申込締切：2024年10月31日 (木)

◎問い合わせ：大阪精神保健福祉士協会事務局

電話：06-6764-7839 (火・木 11時～15時)

申込フォーム



会場マップ



AMの部

大阪市のつながる場を参考に地域包括ケアにおける カンファレンス・多職種多機関連携を考える ～個別支援から地域づくりへ～

大阪協会では大阪市の委託を受け2019年から「大阪市総合的な相談支援体制の充実事業（通称大阪市SV）」におけるスーパーバイザーを派遣しています。

各区における困難処遇事例に対して、行政主導のもと、関係機関がカンファレンスをする中で登録精神保健福祉士がSVRとして大阪市SV事業の一環である「つながる場」に協力していますが、複合的な課題を抱える当事者・世帯に対してわたしたち精神保健福祉士がどのような視点を持ってかわっていくのか、この事業から見えてくる精神保健福祉士としての役割について事例を通して、「個を支える地域づくり（地域変革という視点含む）」「個を地域で支える援助」（多職種多機関連携という視点から）」について考える機会となればと思います。奮ってご参加ください！

概要

時間：9:50～12:00

場所：5F特別会議室

定員：100名

おすすめの対象：初任者からベテラン

タイムスケジュール

※多少変更することもあります。

09:30 受付開始

09:50 開会挨拶

10:00 大阪市担当職員による事業の説明

10:15 古市氏 講義

10:45 野村氏 講義

11:25 グループワーク

（講義を受けての感想シェアリング）

11:55 まとめ（午後の事務連絡）

12:00 終了

講師紹介

野村 恭代（のむら やすよ）氏

大阪大学大学院人間科学研究科修了（人間科学博士）。専門社会調査士、社会福祉士、精神保健福祉士。現在、大阪公立大学大学院現代システム科学研究科兼都市科学・防災研究センター教授。医療法人に勤務中、生活のしづらさのある人の住まいに対する「施設コンフリクト」を知る。解決策が見出せないため自身で研究することに。帝塚山大学心理福祉学部講師、関西福祉科学大学講師、大阪市立大学准教授を経て、2022年より現職。主要業績に『地域を基盤とした福祉のしくみ』（東信堂、2022年）、『つながりが命を守る 福祉防災のはなし』（技報堂出版、2022年）など多数。2019年には、地域拠点での専門職、地域住民協働による総合相談活動で居住福祉賞（日本居住福祉学会）受賞。2018年10月からは、防災やつながりをテーマにした番組「ハートフルステーション」（YES-fm、毎週水曜日12:15～／毎週日曜日22:30～再放送）のパーソナリティをつとめている。

PMの部①

これからのSWの話をしよう ～未来のプロフェッショナルをはぐくむために～

私たち精神保健福祉士が「実習指導を行うこと」の意味や意義は、後進育成の観点、現場の振り返りや職場内教育、養成校との繋がりなど、指導者側の想いや考えは多岐に渡ると思います。令和6年度は10年ぶりに改訂されたカリキュラムとなり、養成校の教育が変わっています。変わったところはどの部分？変わらずにあるところは？を確かめながら、私たちが大切にしてきた価値や倫理を実習に落とし込み、指導を行うことが求められていると思います。

業務に追われる中で実習生に向き合う時間捻出が難しかったり、新人教育や人材育成について考える余裕がなかったり、様々な問題や課題があるかと思います。学生時代を振り返りつつ、今の自身が置かれている立場の中で「職場での教育や育成については勿論、私たちが後進者に伝えたいことは何か」を養成校の先生方とつながりを持ち、共に考え、語り合い、明日からの業務につながる研修になればと思い企画しました。ぜひご参加下さい。

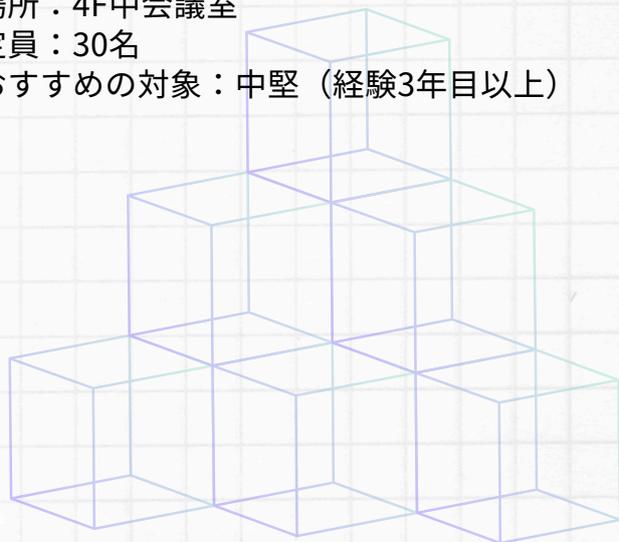
概要

日時：13:00～16:30

場所：4F中会議室

定員：30名

おすすめの対象：中堅（経験3年目以上）



タイムスケジュール

※多少変更することもあります。

- 13:00 開会挨拶
- 13:10 松山氏講義
- 13:40 栄氏講義
- 14:10 休憩
- 14:15 シンポジウム
- 14:55 休憩（場面展開含む）
- 15:00 グループワーク
- 15:45 各班発表
- 16:00 発表終了
- 16:05 まとめ アンケート記入
- 16:15 閉会挨拶
- 16:30 終了

講師紹介

栄 セツコ（さかえ せつこ）氏

精神保健福祉士。大学卒業後、精神科病院等に勤務し、2002年より現職。現在大阪市障がい者地域生活支援部会座長。「病の語りによるソーシャルワーク」金剛出版、「こころの病いの物語をつむぐ 学校における語り部活動」やどかり出版等の執筆、「コンシューマーの視点による本物のパートナーシップとは何か？」金剛出版共訳など。

松山 剛（まつやまつよし）氏

精神保健福祉士。精神科病院の医療福祉相談室、精神科デイケア、地域活動支援センター、就労移行支援事業所での勤務を経て、一般養成施設での精神保健福祉士の養成教育に従事。2024年9月より現職。公益社団法人日本精神保健福祉士協会認定スーパーバイザー。

PMの部②

先輩ソーシャルワーカーの話を聞いてみよう！ ～初任者の時期をどう乗り越えたか～

毎日の業務・実践の中で、自分自身の経験・知識不足に落ち込んだり、支援について悩んだりしていませんか？職場の先輩や上司を見て、「自分のあんな風にできるのかな」、「先輩たちも悩みながら続けているのかな」と思っている方もいることでしょう。

今回は、自分たちの少し先輩の方に新人の頃の悩みや苦勞を語ってもらい、これらをどのように解消・解決していったのかをお伝えする機会を作りました。話を聞いた後は、質問タイムで先輩に気になることを聞いてもらえたらと思います。

後半では、全体テーマである「つながる」を実際に体験してもらうため、グループワークを行います。日頃の「苦勞」や「悩み」など普段話せないことを出してみてください。「これからの実践のヒントにしてもらうことはもちろんですが、「一人ではない」、「仲間がいるんだ」ということを実感してもらうことも大きな目的です。先輩の話を聞いたり、仲間と語り合ったりして、日々の実践やモヤモヤしていることについて考えてみませんか？ご参加お待ちしております。

概要

日時：13:00～16:30

場所：4F中会議室

定員：30名

おすすめの対象：初任者（経験3年目以下）

タイムスケジュール

※多少変更することもあります。

- 13:00 開会
- 13:10 講演①【三浦氏】
- 13:30 講演②【高塚氏】
- 13:50 講演③【佐門氏】
- 14:10 質疑応答
- 14:30 休憩 準備と説明
- 15:00 グループワーク
- 16:00 各グループ報告
- 16:20 総括、閉会のあいさつ

実戦発表者

三浦 仁子 氏 浅香山病院 経験年数4年目

高塚 涼香 氏 阪南病院 経験年数5年目

佐門 伸二 氏 株式会社ココルポート（就労移行支援）経験年数4年目

